



## チーム嶋村 ガバナー月信

Take Action for Rotary Future. Reach Out for World Peace.

第1号 2022年7月発行



### 親愛なる会長のみなさん

こんにちは。待ちに待った私たちのロータリーの新年度がスタートします。みなさんと共に2022年7月を迎えられたことに、心より感謝申し上げます。これからの一年、共に力を合わせ、汗をかきながら、「奉仕の理念」(Ideal of Service)を携えて元気に歩みたいと思っています。よろしくお願ひします。

本年度のガバナー月信は、会長のみなさんをターゲットとして、会長のみなさんが「元気なクラブづくり」のために行う「会長スピーチ」(会長の時間)のヒント・アイデアになるような事柄をお伝えしていきます。

### 1. IMAGINE ROTARY

2022-23年度、ジェニファー・EジョーンズRI会長のテーマは「IMAGINE ROTARY」です。彼女は、「私たちには皆、夢があります。しかし、そのために行動するかどうかを決めるのは私たちです」とし、ロータリーのような団体がポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くなら、「それを実現させる責任は自分たちにある」と語りました。私たちロータリアン・ローターアクターに、大きな夢を叶えたロータリーを想像(IMAGINE)して行動し、その実現のためにロータリーの力とつながりを活かすように呼びかけています。そして、会員の積極的な参加こそが会員の維持に重要であり、会員の参加を促すための適切な「部品」を見付けること、「会員にとっての心地良さと配慮」が大切だと指摘されています。



## 2. ガバナー信条

「Take Action for Rotary Future ロータリーの未来のために行動しよう」

「Reach Out for World Peace 世界の平和のために手を差しのべよう」

私はこのガバナー信条を昨年初めに決めました。その間も、世界中に新型コロナウイルス感染症が拡大し、例会の休止や奉仕活動の停滞を余儀なくされてきました。チーム嶋村の骨格作りにも一部支障が出ました。Zoomなどのオンラインでの会議を開催するアプリケーションが普及し、チーム嶋村のみなさんの協力の下、チーム形成を進めることができました。私たちはいつも未来志向でした。ガバナー信条の中にもある「Rotary Future」（ロータリーの未来）のことをいつも考えて仲間とアイデアを出し合い、話し合ってきました。そして、今年1月25日に発表されたジェニファー・E・ジョーンズの会長エレクトのテーマ「IMAGINE ROTARY」を聞いた時、思い続けた「Rotary Future」が確信に変わった瞬間となりました。チーム嶋村は、「IMAGINE ROTARY」とガバナー信条に基づき、「Rotary Future」を見据えた参加型の奉仕活動のサポートを展開していきます。

本年2月24日、ロシアのウクライナへの軍事侵攻が始まり、悲惨な戦況が連日報道されています。もう一つのガバナー信条である「Reach Out for World Peace」に基づき、ロータリーの特徴である世界とのつながりを意識しながら、私たちに何ができるかを、クラブで考え、話し合っていて欲しいと願っています。そのために、会長のみなさんのリーダーシップにより、今こそクラブコミュニケーションをアップさせる必要性を感じています。

## 3. 地区運営方針

(1) ロータリーの「奉仕の理念」(Ideal of Service)が確立された歴史を再認識し、ロータリーの未来への可能性に挑戦しましょう

ロータリーの目的を理解し、奉仕の理念を携えて、ロータリアンとしての実践・行動につなげていきましょう。

ロータリーの目的：

意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

奉仕の理念：

何処においてもロータリークラブにも、一つの基本となる理念を大切にしている、それは他人を思いやり、そして他人のために尽くすことである（チェスリー・ペリーによる定義）

(2) 未来を託す青少年奉仕活動の新しいクロスプロモーション事業をローターアクターと共に展開しましょう

次世代ロータリーとの積極的な交流を推進します。2019年より、RIの構成員となったローターアクトクラブは、私たちの素晴らしいパートナーであり、私たちの未来でもあります。お互いに知り合う機会を作ります。直近では、「ガバナー・ローターアクト交流会」を開催します。ローターアクトクラブのスポンサークラブを提唱していないロータリークラブの会員にも参加を推奨し、ローターアクターとの対話・交流を推進します。日程は開催順に、北分区：7月24日（日）、沖縄分区：7月30日（土）、中央分区：8月21日（日）、東分区：8月28日（日）を予定しています。武蔵野分区

と多摩分区はオープン参加になります。

- (3) 「ロータリーは人を育て向上させる場」の認識を高め、会員基盤の向上を図り、会員増強に結びましょう

改めてロータリーの「奉仕の理念」を学び、行動することで自らの人間的な成長に繋がることを体感し、ロータリアンとしての矜持を大切にしたいと思えます。参加型の社会奉仕活動をご理解いただくために、今月号の付録に「元気なクラブづくりのための鼎談：会員の参加を促し、奉仕の充足感につなげる ～行動する公共イメージと参加型の社会奉仕活動～」があります。

ロータリーを学ぶ機会も提供します。①クラブからの要望の多い新入会員研修を「ハローROTARY」と銘打って、10月からZoom形式で3回にわたって実施します。②当地区で開始して5年目となるRLIは受講者をクラブの幹事と幹事エレクトに絞り、集中型で、来年1月からインパーソンで実施します。③4月からはロータリーが好きになるTLR (Training to Love Rotary) をZoom形式で実施し、クラブを越えてロータリーを語り合う機会も提供します。

- (4) 「世界を変える行動人」として、海外との交流を通じて、国際理解と善意を育み世界の平和を希求する

10月23日・24日の「世界ポリオデー2580」の一環として、ロータリーファミリーと共に街頭募金活動をするためのサポートをします。「ポリオの根絶は世界平和の道標」、ポリオ根絶活動を通じて、クラブの活性化を目指しましょう。「世界ポリオデー2580」をご理解いただくために、今月号の付録に「元気なクラブづくりのための鼎談：会員の参加を促し、奉仕の充足感につなげる ～行動する公共イメージと参加型の社会奉仕活動～」があります。

- (5) DEI「Diversity (多様性)・Equity (公平さ)・Inclusion (インクルージョン) をクラブ・地区に浸透させましょう

すべての言動をDEIの原則に基づき行いましょう。すべての人の尊厳を守り、すべての人と尊重をもって接し、すべて人の声に耳を傾けられようとするとともに、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会を設けることに力を注ぎましょう。

#### 4. ガバナー公式訪問フォーラムについて

「ガバナー公式訪問フォーラム」は「元気なクラブづくり」のために行うガバナーと会員のみなさんとの対話です。想定される成果はクラブコミュニケーションのアップです（ガバナーエレクトメッセージ2022年3月号参考）。新型コロナのために、クラブの奉仕活動と同様にクラブの親睦活動も十分とはいえませんが、会長のみなさんには、会員のみなさんと対話をする機会の提供をお願いしています。たとえば、会長のみなさんのクラブを担当するガバナー補佐が関わる「クラブ協議会」で「ガバナー公式訪問フォーラム」のテーマについてお話しをされてみてはいかがでしょうか？ また、クラブの課題やビジョンなどをテーマにしてみてはいかがでしょうか？（クラブビジョン・クラブ行動計画策定のきっかけになるかもしれません） 会員のみなさんのロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）をテーマにしてはい

かがでしょうか？ 会長のみなさんの「会長スピーチ」（会長の時間）をもとにしたテーマはいかがでしょうか？ 「ガバナー公式訪問フォーラム」で、ロータリアン同志の思いやりに溢れた対話ができることを期待しています。

### 私のロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）①：「奉仕の心に火がついた」

入会1年3か月の時、東京東江戸川RCの提唱する東京東江戸川ローターアクトクラブの会員は一人だけでした。その一人と東京東江戸川RCの会員は共に「環状七号線清掃活動」を実施しました。当時84歳だった大先輩のローターアクト委員長が率先してゴミ拾いをする姿に、そしてその時、大先輩からいただいた「たった一つの種（一人のローターアクター）になっても水を注ぎましょう、いつか芽が出て、花が咲きますように」の言葉に感激しました。私の奉仕の心に火がついた瞬間でした。忘れられない最初のロータリーモーメントです。



2022年7月1日

国際ロータリー第2580地区ガバナー 嶋村文男

※ガバナーへのメッセージをお待ちしています→ [info@motoffice.jp](mailto:info@motoffice.jp)

チーム嶋村ガバナー月信編集委員会より：

「沖縄分区インターアクトクラブによる慰霊の日クリーン活動」

執筆：チーム嶋村ガバナー月信編集委員 儀部頼人



6月18日(土)、10:00から13:00まで、宜野湾市にある嘉数高台公園にて「慰霊の日クリーン活動」が行われました。30年以上前から、6月23日の沖縄県の慰霊の日に合わせて、その日の前後に行われています。コロナのために2年ぶりとなりました。嘉数高台は沖縄戦の激戦地でした。高台の下には普天間基地があります。



興南高校インターアクトクラブ、昭和薬科大学附属高校インターアクトクラブ、那覇高校インターアクトクラブのインターアクターのほか、首里高校ボランティア部のメンバー、さらにスポンサークラブのロータリアンなど総勢50名以上が共に汗をかきました。当日の流れは、全体説明の後、クリーン活動、慰霊のお祈り、平和学習となっていました。

執筆者からコメントです。

「私がインターアクターだった時代から毎年参加している本活動ですが、コロナで2年間休止となりました。必ず復活すること、また、絶やしては行けないという気持ちでコロナの2年間は私1人で活動を行いました。今年復活できたことがとても嬉しく、また元気なインターアクターの姿を見ることができ、喜びを感じました」

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

6回	戸塚 誠一郎(東京江北)	
3回	麻生 利勝(東京西北) 小船井 良夫(東京西北) 佐藤 徹(東京江北) 小林 光夫(東京江北) 畠山 信弘(東京江北) 影山 幸一郎(東京江北)	大竹 美喜(東京西北) 島田 和明(東京西北) 守屋 裕之(東京江北) 芝 久雄(東京江北) 張替 俊光(東京江北)
2回	高橋 徹(東京西北) 浅野 真(東京西北) 飯田 修一(東京西北) 海老沼 孝二(東京江北) 渡邊 浩(東京江北)	吉野 賢治(東京西北) 原田 正彦(東京西北) 吉田 正行(東京江北) 今井 太郎(東京江北)
1回	岡 英孝(東京西北) 羅山 能弘(東京江北) 人見 真吾(東京江北) 鈴木 又右衛門(東京江北)	原田 寛(東京江北) 中山 高德(東京江北) 高橋 史郎(東京江北) 松井 元(東京江北)

ポール・ハリス・フェロー

	渡辺 修三(東京西北) 小出 康夫(東京江北) 細沼 謙久(東京江北) 高梨 秀典(東京江北) 川村 恵三(東京江北)	中島 久彰(東京西北) 船木 佳昭(東京江北) 岩崎 和浩(東京江北) 成田 義孝(東京江北)
--	---	--

米山功労者・メジャードナー

23回	清水 卓治(東京本郷)
-----	-------------

米山功労者・マルチプル

3回	松下 和正(東京本郷)
----	-------------

米山功労者

	小西 武志(東京) 関口 豊一(東京田無)	新井 浅浩(東京田無)
--	--------------------------	-------------

5月31日分まで 敬称略、順不同

編集： 国際ロータリー第2580地区 ガバナー月信編集委員会 ガバナー月信へのお問い合わせ／コメント： info@motoffice.jp
--